



BCPO

Beppu Citizens Philharmonic Orchestra

別府市民  
フィルハーモニア  
管弦楽団

別府市民フィルハーモニア管弦楽団

# 第31回 定期演奏会

2025年 6月8日 **日** 13:30 開場  
14:00 開演



指揮 アントニーン・キューネル

## Program

山田耕筰

序曲 二長調

W・A・モーツァルト

ヴァイオリンとヴィオラのための  
協奏交響曲 変ホ長調 KV.364

ヴァイオリン

ジェラルール・プーレ

ヴィオラ

生野正樹

# TCHAIKOVSKY

Symphony No.6 《Pathétique》

P.I.チャイコフスキー 交響曲 第6番「悲愴」  
ロ短調 Op.74



Facebook



Instagram

@BEPPU\_PHIL

場所 別府ビーコンプラザ  
フィルハーモニアホール

入場料 一般〔大学生以上〕 1,000円  
学生〔小・中・高〕 500円

未就学のお子様のお入場はご遠慮ください

主催 / 別府市民フィルハーモニア管弦楽団 オフィシャルパートナー / 別府ビーコンプラザ 後援 / 別府市  
お問合せ / 別府市民フィルハーモニア管弦楽団実行委員会事務局 TEL 0977-24-3887

/ 別府市文化国際課 TEL 0977-21-1131

チケット取り扱い / 別府市文化国際課・ビーコンプラザ・トキハ別府店・エトウ南海堂

(有)カネトウ楽器・(株)グレイス楽器・西日本弦楽器・(株)ミュージックストアナガト

## Artist Profiles



### 指揮：アントニン・キューネル

conductor: Antonin Kühnel

1941年チェコの首都プラハに生まれる。1956年プラハ国立音楽院においてピアノ専攻。1962年～1968年 Praha Music Academy section of conducting。1971年チェコスロバキア、オルシュミツ国際指揮者コンクール第二位受賞。1973年イランのテヘラン歌劇場音楽監督就任中、1976年武蔵野音楽大学客員教授として来日。1976年新星日本交響楽団指揮者に就任。1979年帰国。マリアンスケラーズ二交響楽団常任指揮者就任。また、プラハ国立音楽院でオーケストラ指導、及び和声学を指導。1982年再び武蔵野音楽大学に着任。その後、1990 岐阜教育大学音楽部客員教授、大阪教育大学音楽学部客員教授を歴任。これまでに日本フィル、新日本フィル、東京シティフィル、山形交響楽団、関西交響楽団、大阪シンフォニカー、京都交響楽団、神奈川フィル、ニューフィル千葉、韓国コリアン、フィル等、数多くオーケストラを

指揮。2003年よりチェコより優秀なソリストを招きコンサートを企画し、彼らのピアノ伴奏も勤める。現在、ベルカウント室内管弦楽団首席指揮者。横浜市つずき一交響楽団 guest conductor。千葉県市川市在住。



### ヴァイオリン：ジェラルド・プーレ

Violin: Gérard POULET [www.gerard-poulet.com](http://www.gerard-poulet.com)

フランスの至宝。86歳を超えた今も、現役の巨匠ヴァイオリニストであり、偉大な教育者である。11歳でパリ国立高等音楽院に入学し、2年後に首席卒業。18歳でパガニーニ国際コンクール優勝。H・シェリング等の巨匠に師事。パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団等、共演したオーケストラは枚挙に暇がなく、世界中でソリストとして活躍。審査員(長)として数々の国際コンクールにも招かれる。

長年教授を務めたパリ国立高等音楽院退官後、パリ市立音楽院とエコール・ノルマル音楽院で教鞭を執り、2005年から2009年までは東京芸術大学の客員・招聘教授を務めた。2010年から現在は昭和音楽大学教授を務める。日本中でマスタークラスを行う。これまで数多くのコンクールで優勝者や上位入賞者を輩出し、日本のヴァイオリン界のレヴェルアップに貢献している。生涯で70枚以上のCD(LP)を出している。

日本弦楽指導者協会、及び日本フォーレ協会の名誉会員。日本をこよなく愛し、日本とフランスをほぼ半々に生活している。1995年にフランス芸術文化勲章及び1999年に文化功労賞を受賞。2019年5月にフランス文化省から、フランス芸術文化勲章の最高位コマンドール(Commandeur de l'ordre des Arts et des Lettres)を叙勲。

2019年8月に日本国内で第1回ジェラルド・プーレ・ヴァイオリン・コンクールを開催し、楽器の貸与を実施した。2023年8月の85歳になる前日に、メンデルスゾーン協奏曲をオーケストラと録音する偉業を果たした。

◆プーレ氏の言葉:「今が人生の最高。こんなに良い生徒たちを持ったのは生涯で初めて。多くの素晴らしい友人、同僚に恵まれ、日本にいる幸せを常に感じている。日本人の心(思いやり)、丁寧さ、規律の正しさ、日本の食事が大好き。」



### ヴィオラ：生野正樹

Viola: Masaki Shono

1978年大分県出身。14歳よりヴィオラを始め、大分県立芸術緑丘高校を経て、洗足学園音楽大学を首席で卒業、同大学大学院修了。内田博、岡田伸夫の各氏に師事。

ザルツブルク = モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格、九州交響楽団と共演。これまでに神奈川フィル、新日本フィル、東京シティフィル、京都市交響楽団など全国の主要オーケストラに客演首席として参加。2016年は活動を一時休止しドイツへ留学、ピアノの名匠ゲオルク・フリードリヒ・シェンク氏とブラームスのソナタを共演し、研鑽を積む。2019年天皇陛下即位祝賀式典のオーケストラにてソロヴィオラ奏者を務めた。「音楽の友」クラシック・ベストテン2024にて好きな器楽奏者第11位、好きな日本人器楽奏者第7位に選ばれる。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ活動、また、葉加瀬太郎ツアーや様々なジャンルのレコーディングに参加。石田組、トリオ AXIS、昴 21 弦楽四重奏団、RENTARO 室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。2025年4月より東松山市民文化センター音楽アドバイザーに就任。

本人器楽奏者第7位に選ばれる。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ活動、また、葉加瀬太郎ツアーや様々なジャンルのレコーディングに参加。石田組、トリオ AXIS、昴 21 弦楽四重奏団、RENTARO 室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。2025年4月より東松山市民文化センター音楽アドバイザーに就任。

## 管弦楽：別府市民フィルハーモニア管弦楽団

Orchestra: Beppu Citizen Philharmonia Orchestra



別府市内で活躍する音楽家とこれを支援する県内外の音楽家により、1993年10月に「別府市民交響楽団」として結成。1995年には世界的ピアニスト、マルタ・アルゲリッチとも共演した。2003年6月には「10周年記念特別演奏会」でベートーヴェン作曲「交響曲第9番」を演奏し、好評を得る。毎年2回開催する別府ビーコンプラザでの演奏会

は、市民に親しまれる恒例行事となっている。他に市内の公共施設などでのミニコンサートを開催し、クラシック音楽の普及活動にも力を入れている。2014年から毎年、別府市「音泉タウン音楽会」に出演。2016年4月より現名称に変更。